

骨・軟部腫瘍に対する粒子線治療後における 外科治療の安全性と有用性に関する研究

1. 研究の対象

2002年～2020年の間に骨・軟部腫瘍の診断で重粒子線治療をうけられ、かつ重粒子線治療後にその照射範囲内に外科治療をうけられた方。

2. 研究目的・方法

骨・軟部腫瘍は外科的切除が一番重要な治療法です。しかし腫瘍の発生部位や大きさなどにより切除が困難である場合や切除により身体機能に著しい影響が出る場合に手術を行わず放射線治療のひとつである重粒子線治療を行うことがあります。重粒子線が照射された範囲は血流が乏しくなるため傷がついたりすると治癒しにくくなります。そのため重粒子線照射範囲における外科的治療は一般的に行われておりませんが、照射範囲の骨折などで外科的治療が必要となる場合もあります。このようなケースが非常に少ない為照射範囲における外科治療の安全性や有効性に関する情報が不足しています。今回の研究の目的は2002年～2020年の間に重粒子線治療後に照射部位に外科治療をした方の診療情報を調査し、その安全性や治療結果を評価・検討することです。本研究の研究期間は研究機関の長の承認日～2025年12月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

患者情報：年齢、性別、腫瘍の組織型・部位

治療情報：重粒子線照射記録、手術内容、術後合併症 等を調査します。

4. 外部への情報の提供

下記に示す研究組織以外への情報の提供は行いません。

5. 研究組織

代表機関

研究代表者

大阪大学医学部附属病院 整形外科 王谷英達

分担機関

研究責任者

大阪国際がんセンター 整形外科 竹中聡

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒541-8567

大阪府大阪市中央区大手前 3-1-69

大阪国際がんセンター 整形外科（骨軟部腫瘍科） 部長 竹中聡

電話 06-6945-1181